

市民と
日本共産党で

場外舟券売り場計画

ポートピア取手

STOPさせてホントに良かった!!

昨年末、突然持ち上がった民間業者による藤代・小浮気への「場外舟券売り場」計画。市民の皆さんとともに、日本共産党は世論を広げ、7月末にスタートした署名は1ヶ月足らずで2065筆に。9月1日、業者は舟券売り場設置計画を断念しました。市民と日本共産党の共同で断念させた快挙です。

市民の声

「競輪場がある取手に、その上、またギャンブル施設？ 市は何を考えているんだ」ほんと、引越したい！などと、冗談でなく思いました。ストップとなって本当によかったです。

ギャンブルより教育・文化・環境の充実を 市民世論と運動で「舟券売り場」建設中止の経過

H29年 12月	(仮)「ポートピア開設準備室」委員が、舟券売り場設置計画を小浮気区長らに説明を始める。取手市に地元からの相談寄せられる。
H30年 6月	地元への業者説明会（小浮気・谷中地域）。市議会で日本共産党市議が市長を質す。市は「現時点では把握していない」と答弁。
7月30日	共産党は、舟券売り場設置に同意しないことを求め市長に要請書を提出。市は「業者からの話はない」と答えず。 地元市民有志と共産党「ポートピア反対署名」スタート。取手の文化人による反対署名も市長に提出される。マスコミ報道、ビラ・ポスター張り出し等、反対世論全市へ広がる。
9月3日	市議会議員全員協議会で市は、8月6日ボートレースの中央団体に問い合わせ28日に同振興会からの「当方は関知していない」との回答を報告。質問に「業者からの話もなく、答える立場はない」と繰り返す。
9月4日	9月1日付で、業者から地元区長あてに「お詫び」として、振興会の意向により、設置計画を断念する文書が提出されたと、議場配布される。

市議会で「舟券売り場計画は中止を」との日本共産党の一般質問を封じた自民・自民系市議の態度は納得できません。「中止」のために一緒に運動してくれた日本共産党。「上野たかしさんを必ず県議会へ」と今回、強く思いました。

東京芸大や音楽課程を持つ2つの高校がある取手市が、その成果を発表できる音楽ホールや美術館などの十分な文化施設もなく、「ギャンブルを受け入れようとする」ことに異議を申したい。

「場外舟券売り場計画に同意しないこと」を市に申し入れる上野たかし
県議と日本共産党取手市議団
7月30日



依存症や青少年への悪影響が大きいギャンブル。市民の皆さんと私たちが、力を合わせポートピア計画を断念させることができ、本当にうれしいです。

県営取手競輪場についても「文化・スポーツ等に利用転換を」との声が多く寄せられており、県議会でもこれまで取り上げてきました。

子どもたちが豊かに成長できる社会へ私も全力で頑張ります。



日本共産党

上野たかし